

## 対人関係でトラブルをくり返す Aさんへの支援

～成人期の自閉症者への支援の実際～

社会福祉法人 桑の実会  
障害福祉サービス事業所 桑の実工房  
所長 桑園 英俊

〒807-0075  
北九州市八幡西区下上津役3丁目1番7号  
TEL/FAX 093-612-6045  
MAIL [kuwanomi@com.home.ne.jp](mailto:kuwanomi@com.home.ne.jp)  
HP <http://www.kuwanomi.org/>

## Aさんのプロフィール

- 性別等 女性<身長147cm・63kg>
- 生年月日 昭和37年1月 <現在52歳>
- 主障害 発達障害<アスペルガー疑>  
H21 精神保健福祉センター診断
- 療育手帳 B1
- 障害程度区分 3<平成24年度⇒4>
- 疾病 高脂血症
- 通院 ◇◇精神科1/2ヶ月 ○○内科医院
- 服薬 デパゲン・リスペリドン<頓服> 他
- 家族構成  
【同居】父<81歳>元小学校校長・母<H26.9死去>元教員  
【別居】弟(41歳)無職・妹(34歳)精神科通院

2

## Aさんの生活歴

- S49 A中学校
- S52～S55 A女子高等学校  
<この間アルバイトを数度行いが定着せず、長期在宅で過ごす>
- H6～ ボランティア協会・支援センター  
北九州自立生活Cとの関わり
- H7 療育手帳取得
- H10 支援C「レッツ」に両親と来所
- H10～H12 A学園<障害福祉事業所>
- H16.2～5 B作業所
- H17.1～8 C作業所
- H18.3～5 つばさで能力判定

3

## 利用前の情報<他機関資料より>

- ・ 興奮すると暴言、罵声が1時間程続く。
- ・ 利用者に対する暴言・他害。退所をくり返す。
- ・ 買い物時、定員さんに執拗な暴言。出入禁止。複数の店舗で感情爆発。
- ・ 福祉社会館で感情爆発。参加制限。
- ・ バス車中で運転手さんへ感情爆発。警察連絡。
- ・ 男性利用者宅に執拗な電話。
- ・ 関係機関への執拗な電話。
- ・ トラブルが多く、受け入れる事業所が無い。

4

## 桑の実工房 利用の経緯

- 平成18年 A区役所保健福祉課より相談
- ケース会議 <4回実施>
  - 参加者
  - A区保健福祉課主査
  - 北九州市地域生活支援センター「レッツ」
  - 北九州市発達障害者支援センター「つばさ」
  - 北九州自立生活センター
  - 桑の実工房
- 幾つかの事業所を見学後、桑の実工房を希望  
実習体験後 H19.4より利用開始

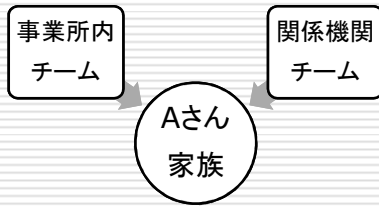
5

## 利用後の感情爆発場面

- 対象となる所員への大声威嚇。止められない。
- 特定の利用者<時々で変化する>への被害妄想的な思い込みによる暴言と攻撃
- 特定の男性所員への執着。男性宅や職員への電話を執拗に繰り返す。
- 母親への暴言、他害行為。
- バス車中で乗客と口論。警察署に保護
- 眼鏡店との定員へ暴言。工房へ連絡
- 自宅にKが入って物を盗んで行った。警察へ連絡して騒ぎとなる。

6

### 2つのチームアプローチ



- 1人の支援者に任せない。全員で支援する。
- 1つの事業所に任せない。関係機関で支援する。
- マネージャーを明確に。チームが稼働する方法を明確に

7

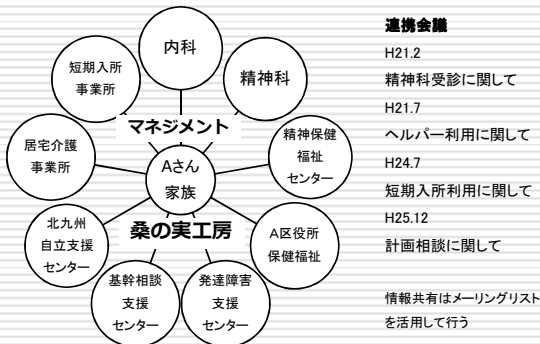
### 関係機関チームアプローチ

専門機関・キーパーソンと  
支援困難な内容を  
共有する

- 緊急に対応が必要な内容
- 現在の本人・暮らしの環境で支援が必要な内容
- 直近に予想される困難への支援内容

8

### 関係機関との情報共有



9

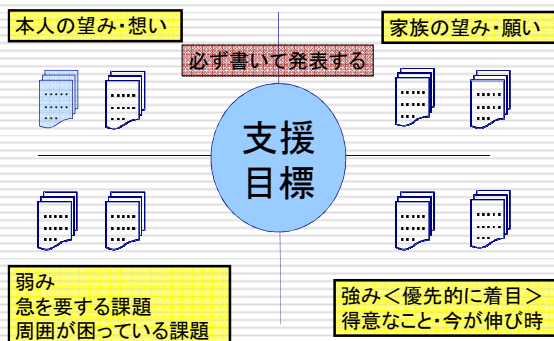
### 事業所内チームアプローチ

個別支援会議で  
目標と具体的支援内容  
支援方法を共有する

- 個人の力量でなく、チームの総量で目標を決める
- 支援に関わる全員が目標設定の過程を共有する
- 目標設定にある背景を全員が共有する

10

### 目標設定時のBS手法



11

### 支援目標決定時に欠かせない視点

本人の「強み」「可能性」に  
着目した目標であること

- 何より本人が「生き生き」と取り組める目標設定
- 生活に大きく影響していない「できないこと」をわざわざ目標にしない

12

### 2つのアプローチ

- 課題となる行動を改善する支援
- 本人の「できる」「強み」を伸ばす支援

13

### 課題となる行動へのアプローチ

## 情緒・行動の記録をとり 分析をして 主訴を絞り込む

- 項目の設定<予想される要素・行事・睡眠等>
- 主訴は支援者が思いもよらぬことにある場合も
- 主訴がわかれば、事前の配慮・支援が可能になる

14

### 感情爆発の主訴となる対象

15

### 課題となる行動へのアプローチ

## ルールを 本人に分かるツールで 明確に伝える

- 文にしてノートに書いて伝える。
- 行動を具体的に書く。「1人で病院には行きません」
- 言葉・思い込み。自分に都合よく変更。

16

### 課題となる行動<通勤時>へのアプローチ

## 通勤時の 対人トラブルを 防ぐ支援

↓

ルールを伝える⇒感情を押さえられない

◆交通機関が家庭訪問。利用を控えて欲しい。H24.8

送迎支援員での送迎⇒送迎支援員への攻撃的言動

↓

最終的支援⇒支援員が送迎 H25.11

17

### 課題となる行動<医療機関>へのアプローチ

## 医療機関受診時の 不安を軽減し トラブルを防ぐ支援

- 支援者・看護師が一緒に受診 <本人・家族任せにしない>
- 医師の助言内容を、本人が分かるように伝え直す
- 服薬の分類は事業所で支援者の助言で行う
- 本人が希望する受診の判断は看護師・所長が行う

18

課題となる行動<昼食時>へのアプローチ

昼食時の  
感情爆発を  
軽減させる支援

- Aさんが反応する利用者と場所を分ける  
⇒少人数グループでも新たに反応する相手をつくる  
⇒Aさんが食べたい人は、Aさんと食べたくない
- 最終的支援⇒支援者とマンツーマンで食事

19

感情爆発へのアプローチ

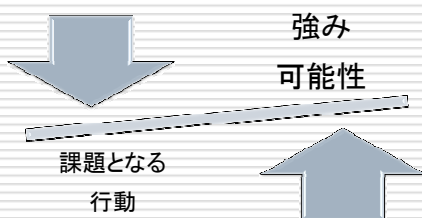
苛立つ時は  
リスペリドン<頓服>の  
服薬を促す支援

- 当初は服薬に対する拒絶、怒り  
感情爆発⇒服薬⇒睡眠⇒気分の安定⇒快  
服薬の効果を自分で感じ、促しに応じる  
↓  
H25年より、自分から苛立ちを訴え服薬 3回/年

20

2つのアプローチ

- 課題となる行動を改善する支援
- 本人の「できる」「強み」を伸ばす支援



21

強みと可能性に着目したアプローチ

自信を積み上げる  
承認欲求を満たす

- 本人の意欲「やってみたい」ことをベースに
- 話す・歌う・書く・描く・縫う・磨く・歩く・・・強みは何か
- 作業や活動にAさんを当てはめない
- Aさんの強みから作業や活動を創る視点

22

強み「根気」に着目したアプローチ

「Aさんの」  
仕事を創る

- 木工製品「穴あきターナー」の手磨き・・・絶品
- 染色製品「刺し子バッグ」の刺し子・・・独創
- 工房での拭き掃除・・・徹底的
- 支援者も2～3年かけて創る心構えで

⇒「すごいやん」⇒自信と認められた喜び⇒螺旋向上

23

強み「話す」に着目したアプローチ

コミュニケーション支援

毎日、支援者と  
時間を設定して話をする

- 出勤前<7:15>の電話 「服薬と今日の気分」
- 昼食後の支援者とマンツーマンで話す<10分>
  - 不満や不安、気になっていることを支援者に伝える
  - 話すことでの安心感、解放感
  - 支援者は、不安や不満を和らげる方法を伝える

24

**強み「書く」に着目したアプローチ**

毎日、支援者と  
交換ノートをして  
思いを伝え、思いを受け取る

- 不安、不満、悲しみ、困ったことをノートに書く
- 仲間の良い面を見つけてノートに書く
- 支援者もAさんの書いた文に対しての思いを書く
- A4ノート。8年間で21冊。

**家族支援**

相談でき、  
任せられる相手がある  
安心感を

- 両親の外部への警戒心を時間をかけて解きほぐす
- 連絡ノート。その日「出来た」事を伝える。伝え続ける
- 転機⇒絵画展の受賞 父親がAさんを承認
- 居宅介護、短期入所等、利用できるサービスの体験

**家族の変化による新しい暮らしの場**

本人の意思を尊重した  
暮らしの場の選択

- 母親の死去<平成26年9月>
- 父親の高齢
- Aさんの行動に対する理解と配慮ができるケアホーム
- Aさんが希望するホームでの体験利用を
- 事業所・支援者間で情報共有、連携ができるホーム

**Aさんを尊重した支援**

本人が決定できるように  
選択肢を準備し  
本人の意向を尊重する

- 支援者がAさんの意向を常に尊重する姿勢
- Aさんが決めたいことは、Aさんが責任を持つ
- 叶えられない意向を、納得できるまで話し合う

**ホームページの紹介<日々情報を更新しています>**



<http://www.kuwanomi.org/>

**MEMO**